



国家公務員共済組合連合会

佐世保共済病院 広報誌

2016
vol.16
第3号

きょうさいだより

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper



「秋の渡り」ハチクマ

9月下旬は、烏帽子岳や冷水岳の沢山で「ハチクマ」の渡りを見ることができます。
同時期の「アカハラダカ」とは飛ぶ方向が違い、交差しています。

烏帽子岳野鳥撮影中の山川勇造医師

INDEX

- ごあいさつ 事務部長 畑 宏明 ①
- 小児アレルギーセンターについて
- 新採用医師の紹介 ②
- 日本頭頸部外科学会頭頸部がん
専門医研修準認定施設
- 診療活動の現況ー病理診断科の歩みと今ー..... ③④
- 100周年記念樹『ヒポクラテスの木』が立派に成長しました！
- 魚とお酢で動脈硬化予防 ~血管の若さを保つ！ ⑤
- 地域医療連携室より ⑥
- ニューヤマザキデイリーストアのご紹介
- 編集後記
- 外来診療担当表 ⑦

佐世保共済病院の理念

博愛の精神 人の和 自己研鑽

基本方針

1. 地域のニーズに応え信頼される医療を目指し、地域医療に貢献します。
2. 他の診療機関とともに地域の皆さんの診療と健康増進に努めます。
3. 新しい医学および医療の知識と情報を取り入れ、自己啓発に努めます。
4. それぞれが自己の責任を自覚し、安全な医療を目指します。
5. 病める人の苦しみや喜びを分かち合える心を持ち、患者さん中心の診療に努めます。

〒857-8575 長崎県佐世保市島地町10番17号 TEL0956-22-5136(代)

紹介受付専用FAX(医療連携室) 0120-12-2067 HP <http://www.kkr.sasebo.nagasaki.jp>

急患室直通 FAX ☎0956-22-6052 (代) FAX0956-25-0662 ※休日夜間のご連絡は、急患室直通的番号でご連絡下さい。

ごあいさつ

事務部長 畑 宏明



28年度は、医療界を揺るがす診療報酬改定が実施されました。今改定の一歩のポイントは7対1入院基本料の適正化にありました。

わが国は、2025年には、団塊の世代が75歳以上となり、15歳から65歳の現役人口も減少するため、日本人の5人に1人が75歳以上となる超高齢化社会が到来することになります。25年頃には医療・介護・福祉サービスの需要が高まり、医療・介護などの負担と給付が大きく変わり健全な社会保障財政の運営に影響がでるとされています。限られた財源で医療サービスを賄っていくためには、メリハリの効いた、効率的な制度にするために今回の改定で大鉈（オオナタ）が振るわれた結果、7対1入院基本料の見直しがなされたのです。

医療界は重症度・医療看護必要度25%以上という激震に見舞われ、当院も同様にその波に飲み込まれそうになりましたが、医師、看護部等を中心に職員が一丸となって取り組んだ結果、なんとか7対1入院基本料の維持に踏みとどまることができそうです。

ただし、安閑としてはられません。2017年までに各都道府県で現在進行中の地域医療構想が完成します。次の改定は、地域医療構想を踏まえたものとなり更に大きな波が来ることは明白です。

当院は、佐世保県北医療圏における“地域医療支援病院”です。佐世保市の基幹病院のひとつとして急性期を死守しなければなりません。全職員が一丸となって地域医療に貢献していく所存ですので、皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

小児アレルギーセンターについて 小児アレルギーセンター長 合田 裕治

当院小児科はこれまでも気管支喘息・食物アレルギーを中心に小児アレルギー疾患を得意としていましたが、この4月より佐賀大学名誉教授・前佐賀大学小児科学講座教授の濱崎 雄平先生を顧問としてお迎えし、小児アレルギーセンターを開設しております。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年12月には「アレルギー疾患対策基本法」が施行されるなど、この数年でアレルギー疾患を取り巻く環境は大きく変化しています。私たちはこれらの社会的背景も考慮し、患者さんのニーズに合わせた診療を心がけたいと考えています。

食物アレルギーに対する食事指導については、これまでと同様、必要に応じて当院管理栄養士が行います。食事の進め方について不安をお持ちの方は、お気軽にご相談ください。

【対象疾患】

気管支喘息、食物アレルギーを中心に診療を行います。アレルギー性鼻炎については耳鼻咽喉科、アトピー性皮膚炎については皮膚科と連携した診療を考えております。

【対象年齢】

小児科が基盤となるため、中学生までの子どもさんが対象となります。

【診療時間】

	月	火	水	木	金
濱崎				○*	
岡		○		○	
合田	○	○	○	○	○

月～金曜日 8:30～11:00（一般小児科との併診となります）。

毎週木曜日午後 再診の気管支喘息患者さんのみ。完全予約制です。

※濱崎先生の外来は毎月第3木曜日の午前・午後、完全予約制となります。

*耳鼻咽喉科は毎週月～金曜日 午前中

*皮膚科は毎週金曜日 14:00～17:00
（非常勤医による診察です）

*皮膚科の受診は院内の診療科からの紹介のみです。受診を希望される場合はまずは午前中に小児科（小児アレルギーセンター）の受診が必要になります。

*初診の方は午前中のみです。初診時は問診など時間がかかりますので、なるべく早い時間の来院をお願いします。

【スタッフ】

小児アレルギーセンター長	合田 裕治
小児アレルギーセンター顧問	濱崎 雄平
診療部長	岡 尚記
耳鼻咽喉科部長	田浦 政彦
皮膚科	非常勤医

新採用医師の紹介

肝胆膵外科部長 丸山 祐一郎



- 出身地／熊本県上天草市
- 出身大学／久留米大学医学部
- 卒年／平成9年
- 主な職歴
平成12年 公立八女総合病院（外科医師）
平成14年 県立消化器

医療センター朝倉病院（外科医師）

- 平成18年 共愛会共立病院（外科医師）
- 平成20年 佐賀社会保険病院（外科医長）
- 平成24年 久留米大学外科（外来医長、病棟医長）

- 専門領域 肝胆膵外科
- 所属学会 日本肝胆膵外科学会（評議員）、消化

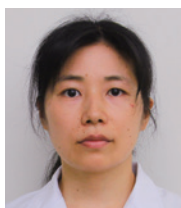
器外科学会（指導医）、外科学会（指導医）、日本消化器病学会（専門医）、日本肝臓学会（専門医）、日本癌治療認定医機構（認定医） 日本肝臓学会 日本胆道学会 臨床外科学会

- 趣味、その他の一言

7月1日付で外科勤務となりました。歴史ある佐世保共済病院の一員に加えていただき深く感謝しています。各部門の“責任ある仕事力”を感じながら導かれるように仕事をしています。“挑戦する心”を忘れずに諸先輩方が築いてこられたチーム皆さま一人ひとりと一緒に切磋琢磨していきたいと思えます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

新採用医師の紹介

麻酔科 豊田 智美



- 出身地／大分県
- 出身大学／長崎大学
- 卒年／平成16年卒
- 在籍医局 長崎大学麻酔科
- 専門領域 手術麻酔

- 趣味、その他の一言

産休から復帰しました。
ブランクはありますが、頑張りますのでよろしく
お願い致します。

日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医研修準認定施設

耳鼻咽喉科部長 田浦 政彦

当科では頭頸部がんの診療に力を入れております。

頭頸部がんとは、鼻副鼻腔癌、口腔癌、咽頭癌、喉頭癌、唾液腺癌、甲状腺癌など頸から上にできる悪性腫瘍のことです。

開業医の先生方からの紹介件数の増加により、当科で治療を行う頭頸部がん症例数は増えております。

頭頸部がん症例数増加に伴い、当院は「頭頸部がん専門医研修準認定施設」に認定されました。

頭頸部がん研修認定施設とは、頭頸部がん症例数が十分あること、頭頸部がん専門医が常勤していること、集学的治療が可能なこと、頭頸部悪性腫瘍全国登録に参加していること、などが認定の条件になります。

頭頸部がん専門医になるためには、熟練した技能と専門知識、がん治療の共通基盤となる基礎知識、医療倫理を併せ持ち、頭頸部がんの集学的治療を実践する能力が必要とされます。

長崎県には、長崎大学病院と佐世保市総合医療センターが研修認定施設、長崎医療セン

ターと当院が研修準認定施設として登録されています。

当科では、頭頸部がん診療に伴う合併症や副作用対策にも力を入れております。

頭頸部がんの治療を行う際は、口腔外科での歯科治療、上部消化管内視鏡検査での重複癌精査、嚥下造影検査での嚥下障害評価、胸部CTや腹部エコー検査での呼吸器疾患や腹部疾患の精査を必ず行います。

内科疾患の合併症例に対しては当院内科と併診して治療を行います。

がんに対する治療が長引くことがあるため、本来の機能が低下しないように嚥下訓練や歩行訓練などのリハビリテーションを行っております。

頭頸部がんの患者様の力になれるよう、今後も努力していきたいと思えます。



前列左側より田浦医師、小池医師

病理診断業務は、昭和40年に久留米大学病理学教室の長島教授のご配慮で、週一回病理医を派遣して頂き始めました。平成13年に病理専門医が常勤となり、平成20年に標榜診療科として認定され、平成23年に3階の中央臨床検査科から見晴らしの良い北館7階へ移動しました（写真1）。



(写真1)

病理診断科職員は“病理専門医”1名と“細胞検査士”兼“認定病理検査技師”の技師3名で日常の業務を行っております。婦人科領域の細胞診業務は細胞診指導医である婦人科医2名が行っております。また長崎大学医学部探索病理から月に一回の割合で非常勤病理医が派遣されています。

主な日常業務は1. 細胞学的診断、2. 病理組織学的診断、3. 術中迅速診断、4. 剖検診断からなります。細胞学的診断は患者さんへの負担が少ない検査であり、各臓器から擦過や穿刺などで採取された検体や液状検体から得られた細胞の細胞学的診断を行っています。病理組織学的診断は外科的切除組織や手術で摘出された臓器を検鏡可能な状態に処理し、病理組織学的診断を行っています。術中迅速診断は術中に提出された検体を短時間で処理、病理組織学的診断を行っています。迅速術中

診断は術式の方針決定など治療に関わる重要な業務の一つです。剖検は不幸にも死の転帰をとられた患者さんの病理学的観点から死因の追及を行い、治療などの妥当性などについて臨床側との検討会を行い、今後に生かしていくように努力しています。

現在、コンパニオン診断の一つとして免疫染色を行い、治療薬の有効性などの検討を行っています。たとえば乳癌ではエストロゲンレセプター、プロゲステロンレセプター発現や、HER2発現の確認を行い、治療方針の決定に役立っています。他の臓器として胃癌におけるHER2発現、大腸癌ではEGFR染色やRAS遺伝子検査、肺癌ではALK発現などが施行されています。

コンパニオン診断では良好な抗原の保持のため適切な組織固定や、抗体の選択、染色法の機械化などが安定した結果が得るため重要となります。当科では組織の適切な抗原保持を目的に固定液には10%緩衝ホルマリンを使用し、安定した染色が行える自動染色装置（写真2）を導入することで適切な精度管理を行っています。安定した染色結果を出せないと治療方針にも影響を及ぼし、患者さんの不利益につながります。治療薬開発の進歩に伴い、



(写真2)

ますます病理組織での抗原やタンパク発現、遺伝子の確認が重要となります。

当科では地域協力として他施設から依頼された病理組織学的診断、細胞学的診断、免疫染色、特殊染色など地域の先生方のサポートも行っています。今後も院内だけでなく地域連携として病理診断分野で貢献・協力に尽力します。

また全国で泌尿器細胞診を専門とする泌尿器科医、病理医、細胞検査士からなる泌尿器細胞診カンファレンスが毎年行われており、「第5回泌尿器細胞診カンファレンス」は当院病理診断科の主催により佐世保で開催しました。平成29年2月は「第16回泌尿器細胞

診カンファレンス」を“長崎につしょうかん”で開催を予定しています（写真3）。全国的な学術集会として充実した会として成功させたいと思っています。

第16回 泌尿器細胞診(別府)カンファレンスin長崎のご案内

詳細決まり次第更新致します。



開催要項

日時	平成29年2月25日(土)、26日(日)
開催場所	長崎市 長崎につしょうかん
学術集会長	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 探索病理学 林 洋子 (写真3)

100周年記念樹『ヒポクラテスの木』が立派に成長しました!



5年前の記念植樹 (木寺前院長)

『ヒポクラテスの木』とは、ギリシャのコス島に生息するプラタナスの巨木のことで、紀元前400年頃、医聖ヒポクラテスがこの木の下で弟子たちに医学を教えたと伝えられていることにその名の由来があります。

平成23年に当院が創立100周年を迎えた際、ヒポクラテスの精神を継承するという思いを込め

て、この木の苗木を佐世保公園内に記念樹として植樹しました。

植樹して間もない頃の苗木は大変弱々しく、ある寒い冬の日枯れかけた姿を見て心配になることもありましたが、5年の歳月を経てこの苗木も成長し、今は若々しくも逞しい立派な若木となりました。

この5年間、医療を取り巻く情勢は年々厳しさを増すばかりですが、陽の光を浴びながら美しく青葉を輝かせるこの若木のように、当院も地域で輝く医療機関となるべく、引き続き精進して参ります。



現在の記念樹

佐世保共済病院では市民サービスの一貫としてがんに関する最新情報を市民の皆さんにお届けすべく、「佐世保共済病院がんセミナー」と銘打った講演会をシリーズで企画することに致しました。その第1弾として私が専門としている隣がんを取り上げ、2016年7月16日（土）に「難治がん“隣がん”への挑戦」といったタイトルの下で市民公



講演中の井口院長

開講座を開催致しました。内容的には隣がんの診断と治療といった医療者向けの内容とともにがん患者（がんサバイバー）の教育・啓発あるいは社会的問題にまで踏み込んだ内容をカバーしており、隣がんといったがんの中ではマニアックな領域にも関わらず、200名超の参加があり、この領域に対する市民の関心の高さが窺えました。今後も地域のがん診療レベルの向上を目指して、様々な切り口からのがん情報を紹介する講演会を企画して参りますので、市民の皆様にはよろしくご参集の程、お願い致します。

魚とお酢で動脈硬化予防 ～血管の若さを保つ！～



秋鮭のさっぱりホイル焼き

～血管の若さを保つ！～

魚に含まれるDHA（ドコサヘキサエン酸）やEPA（エイコサペンタエン酸）は動脈硬化・血栓の予防、改善に有効です。さらに、今回使用している鮭のピンク色はカロテノイドという色素で、動脈硬化の原因となる悪玉コレステロールの酸化を抑え、血管壁を保護します。また、お酢の成分であるクエン酸は内臓脂肪の減少、血圧や血中脂質の低下に効果があります。

＜一口メモ＞

魚の皮のすぐ下の脂には、DHAやEPAが含まれているので、皮ごと食べると効果的です。また、アルミホイルで包んで蒸すと魚の脂が落ちません。お酢のさっぱりとした酸味は減塩や食欲増進にも役立ちます。

栄養科 長谷川 優

＜材料＞ 1人分

玉ねぎ（薄切り）	20g
ピーマン（細切り）	15g
人参（細切り）	15g
しめじ（ほぐす）	15g
● 酢	大さじ1
● 醤油	大さじ1/2
バター	5g
塩・コショウ	少々
レモン（お好みで）	

＜作り方＞

- ①野菜を切る。
- ②大きめに切ったアルミホイルに鮭を置き、塩・こしょうを両面に軽く振る。
- ③鮭の上に野菜をのせ、バターをのせて●を回しかける。
- ④アルミホイルの口をしっかりと閉じ、オーブントースターで約15分焼く。

地域医療
連携室より

Part.
33

佐世保記念病院

〒858-0922 佐世保市鹿子前町104 TEL 0956-28-1111

院長 森山 忠良 先生



当院は皆様をご存知の鹿子前パールシーリゾート「海きらら」より山手にある療養病院（162床：医療と介護病床）で創立36年が経ちました。

我が国は国民皆保険で高度な医療が誰でも受けられる環境にあるため医療費が年間40兆円と膨らみ、また約500万人の認知症が社会問題となっています。高齢になればガンなど悪性疾患や脳・心臓疾患に遭遇する機会も増え、市内の四病院で治療を受けてもすぐ社会復帰が出来ない方々に当院はリハビリを含めた療養を提供しています。また脳卒



左側より 福田幸夫医師 河部英明副院長
山田晃嗣副院長 森山忠良院長
田實満穂医師 堀江徹医師

中や頭部外傷による後遺症を持つ方々には脳外科専門医が常勤なのでリハビリ含めた経過と治療を追えるばかり

でなく、四肢の痙縮にボトックス療法も取り入れ歩行面を含め可動域を拡大する事も出来ます。勤務医師も若手が増え総勢6名に、福岡大学より消化器外科二名の医師が毎週来院され外来診察含め病気の相談にも乗っております。

当院はリハ室の拡大と共にリハ職員も増員し、慢性期中心のリハビリから急性期リハビリにも対応可能となりました。また、「長寿の鍵は口にあり」と言われるように嚥下リハビリ専門家の山部歯科医と共に口腔ケアにも力を入れ経管栄養を離脱し、口からの食事が可能となって在宅生活を送る方も出ております。また、体力作りの基盤となる栄養面も管理栄養士が計画・指導し、ガン患者には緩和ケアと共に人間の尊厳を尊重する終末期医療にも取り組んでいるのは当院だけでしょう。更に、退院後、当院関連の訪問看護や訪問リハビリを活かし生活が出来るよう在宅療養システムも整え地域医療にも参加しています。最後に、共済病院の要望に答えられるよう日々努力して参りますのでよろしくお願い致します。

ニューヤマザキデイリーストアのご紹介

店長 森 友也

佐世保共済病院内にニューヤマザキデイリーストアがオープンしました。当店では値引きイベントの実施や新商品の販売、公共料金の支払いなど院内コンビニとして便利でお得な機能を充実させております。

その他にも、店内焼成している焼き立てパンや厳選された豆を使用したコーヒー、手土産にぴったりな生洋菓子などもお求めやすい価格にて販売しております。

店舗横のイトインスペースは、院内の憩いの場としてもご利用頂けますので、是非一度お立ち寄りください。スタッフ一同、ご来店を心よりお待ちしております。



編集後記

2010年以來の猛暑、これは「ラニーニャ現象」の影響のようです。日本への影響は猛暑に加え水不足や農作物への被害が懸念されます。その上、冬は厳冬になるとも言われています。少しでも地球温暖化を止める行動をしなければなりません。

編集委員 栄喜 貴穂



佐世保共済病院 外来診療担当表

平成 28 年 9 月 1 日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考(専門分野・特徴など)
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
腎臓内科	部長	福成 健一	●						●				腎臓疾患・人工腎臓
	医長	金谷 晶子			●		●						腎臓疾患
	医員	内海 沙織					●				●		腎臓疾患
	〃	池田 裕貴	●						●				腎臓疾患
循環器内科	部長	金谷 誠司					●		●				循環器疾患
	医員	片伯部 幸子	●						●				循環器疾患
	非常勤医	田淵 くみ子									●		循環器疾患
	〃	横山 晋二					●						循環器疾患
	〃	溝口 ミノリ			●								循環器疾患
	〃	原口 剛									●		循環器疾患
呼吸器内科	非常勤医	柴原 大典									●		呼吸器疾患
	〃	榎津 愛実					●						呼吸器疾患
糖尿病内科	非常勤医	牟田 芳美					▲	▲					▲は第2・4週のみ診察を行います
消化器内科	院長	井口 東郎					●	■					膵がん・胆道がん ■は紹介患者のみの受付になります
	部長	河野 健次			●								肝臓疾患
	内視鏡センター長	宿輪 三郎	●								●		消化器内科疾患
	部長	丸山 祐二	●						●				消化器内科疾患・消化器がん
消化器センター					●						●		(診療内容) 上部・下部消化管、肝・胆・膵疾患の検査及び治療
					富崎						井原		
外科	副院長	井原 司					●		●				消化器外科・肝胆膵臓外科・内視鏡下外科・一般外科
	部長	原田 洋			●						●		消化器外科・乳腺外科・一般外科
	〃	富崎 真一	●				●						消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	〃	丸山 祐一郎	●						●				消化器外科・肝胆膵臓外科・一般外科
	医員	高木 克明			●						●		消化器外科・肝胆膵臓外科・一般外科
	〃	福田 勇人	●		●						●		血管外科・一般外科
	〃	野口 堯志					●		●				一般外科
	非常勤医	川畑 方博					●						肝胆膵臓外科・消化器外科・一般外科
									▲				呼吸器外科 (▲は第1週のみ診察を行います)
乳腺外来			●		●		●		●		●		※乳癌検診は、10時までに受付を行って下さい(要予約)
			高木		野口		原田		原田		丸山		
小児科	診療部長	岡 尚記			●				●				小児アレルギー疾患、気管支喘息、小児一般
	部長	上玉利 彰	●				●				●		小児血液、小児癌、小児一般
	アレルギーセンター長	合田 裕治	●		●		●		●		●		小児アレルギー疾患、食物アレルギー、小児一般、気管支喘息
	アレルギーセンター副	濱崎 雄平							▲	▲			小児アレルギー疾患 (▲は第3週のみ診察を行います)
	乳児健診				●								火曜 午後1時から診察開始 午後2時までに受付を行って下さい
	慢性外来							●					水曜 午後2時から診察開始
喘息外来										●		木曜 午後2時から診察開始	
脳神経外科	部長	山川 勇造		■						■	■		脳神経外科一般
	医長	尾藤 昭次	●		●		●		●		●		■は午後1時30分から診療開始 午後4時までに受付を行って下さい
整形外科	顧問	萩原 博嗣	●								●		膝・股関節疾患、人工関節置換術、骨折、スポーツ障害、小児整形外科
	部長	水城 安尋			●		●				●		上肢の外科(肩肘手)、足部外科(外反母趾等)、スポーツ障害
	医員	佐々木 大	●				●		●				膝股関節疾患、スポーツ障害、骨軟部腫瘍
	〃	内村 大輝			●				●		●		上肢の外科(肩肘手)、スポーツ障害
	〃	上田 幸輝	●				●				●		膝・股関節疾患
	〃	富田 哲也			●		●		●				整形外科一般
	〃	大迫 浩平	●				●		●		●		整形外科一般
〃	山下 実砂	●		●		●						整形外科一般	
泌尿器科	診療部長	江口 二郎	※		●				●		●		尿路結石、尿路生殖器腫瘍、排尿障害、尿路感染、男性不妊(江口)
	部長	中村 貴生	※		●			●					※の第2・4週(江口)第1・3・5週(中村)が診察を行います
	医員	湯野 努	●				●				●		
産婦人科	部長	鶴地 伸宏	●		■		●		●				産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患
	〃	木下 秀一郎			●		●		■		●		腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患
	〃	松隈 敬太							●				●：婦人科診療日 ■：産科診療日
	医員	末永 壮賢	●		●				※		■		※の第2・4週(末永)第1・3・5週(柿添)が診察を行います
〃	柿添 絵里	●■				■		※		●			
眼科	医長	原 潤	●		●	※	●	※	●		●	※	白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、翼状片手術、レーザー光凝固術
	※：火・水・金曜の午後は術前検査と特殊再来(要連絡)												
耳鼻咽喉科	部長	田浦 政彦	●		●		●		●		●		頭頸部腫瘍、嚥下障害、耳・鼻・咽喉頭などの手術
	医員	小池 健輔	●		●		●		●		●		
放射線科	部長	野々下 政昭	※検査・画像診断についてのお申し込み・お問合せは、外来までお電話下さい。										MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査
	医員	梶原 寿浩											
	〃	椿 史裕											
麻酔科	部長	深野 拓	●		●						●		月～金午前ペイン・緩和ケア外来
	医長	木本 文子			●		●		●				月～金午後は手術麻酔
	医員	豊田 智美											
	非常勤医	別府 幸岐											
病理診断科	顧問	井関 充及											細胞診断・病理組織診断全般
歯科口腔外科	部長	窪田 泰孝	●	※	●	※	●		●	※	●	※	歯科口腔外科、インプラント、顎顔面外傷、顎関節症、口腔腫瘍
	医員	藤永 貴大	●	※	●	※	●		●	※	●	※	菌性感染症など(※は予約患者のみの診察になります)
	研修医	濱田 雄太	●	※	●	※	●		●	※	●	※	
健診センター	部長	佐藤 浩信	※お申し込み・お問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。健診センター直通電話 0956-22-6155										
	医長	原 敬一											